

# MetaMoJi Note 企業版

## カスタムURLスキーム

### 仕様情報

- Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です
- Google Driveは、Google Inc.の登録商標です。
- 本書は株式会社MetaMoJiが作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社MetaMoJiに帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2014年10月31日 ©2014 株式会社MetaMoJi

# はじめに

- 本書では、iOS上のほかのアプリケーションとMetaMoji Note 企業版との連携をスムーズに行うための仕様を説明しています。
- 連携は、iOS環境におけるカスタムURLスキームの仕組みを利用して行います。
- 本書では、以降「MetaMoji Note 企業版」を「MetaMoji Note」と表記します。

# できること

## ほかの（呼び出し元）アプリケーションからMetaMoJi Noteを呼び出す

- MetaMoJi Noteで開くことができるファイル形式
  - ・ PDFファイル (.pdf)
  - ・ Microsoft Office製品のファイル (.xls、.xlsx、.doc、.docx、.ppt、.pptx)
  - ・ テキストファイル (.txt)
  - ・ MetaMoJi Note 形式 (.atdoc)

## 呼び出し元アプリケーションにデータを返す

- 指定できるファイル形式
  - ・ PDFファイル (.pdf)
  - ・ MetaMoJi Note 形式 (.atdoc)

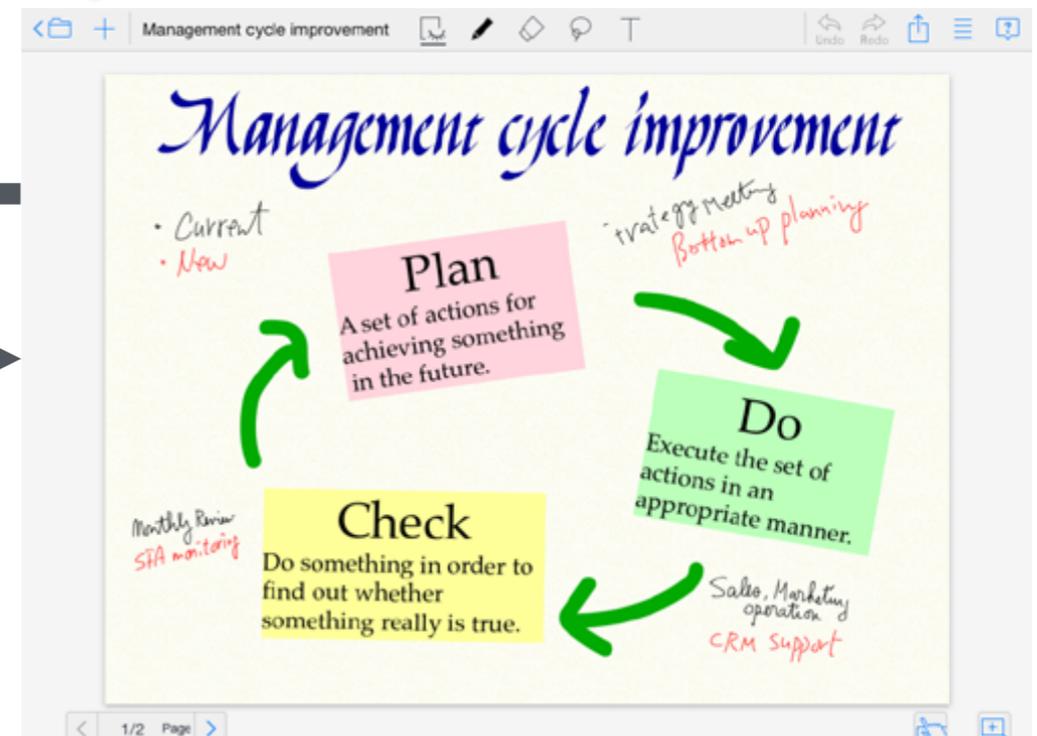
# 連携イメージ

以下を指定して呼び出し元アプリケーションを起動

- ・ カスタムURLスキームで指定されたURL
- ・ 呼び出し元アプリに返すデータ形式
- ・ ローカルキャビネットにデータを保存するか  
しないか

呼び出し元アプリケーション  
(社内システムなどの  
クライアントアプリケーション)

カスタムURLスキーム呼び出し



MetaMoji Note

# カスタムURLスキームの仕様

## 1. URLの書式

```
<スキーム>:///import?data=<データ>&name=<データ名>&srcname=<呼び出し元アプリ名>&srcurl=<呼び出し元アプリに返すためのURL>&sendbackformat=<呼び出し元アプリに返す際のデータ形式>&discard=<破棄/保存の指定>
```

項目	説明
スキーム	Noteで開く：noteanytimeel
データ	PDFやMetaMoJi Note形式 (.atdoc) などインポートするデータの内容をBase64URL Encodingでエンコードして指定します。
データ名	ファイル名を想定しています。UTF-8文字列をPercent-Encodingでエンコードして指定します。 ※ ここで指定された拡張子によりデータの扱いが決定されます。
呼び出し元アプリ名	呼び出し元のアプリケーション名をUTF-8文字列をPercent-Encodingでエンコードして指定します。メニューUIなどの文字列として使用されます。
呼び出し元アプリに返すためのURL	呼び出し元アプリケーションを呼び出すために使うURL文字列です。UTF-8文字列をPercent-Encodingでエンコードして指定します。 ※ この文字列には {} で囲んだプレースホルダを埋め込むことができ、その部分を該当するデータで置き換えた状態で呼び出します（プレースホルダについては次ページをご覧ください）。
呼び出し元アプリに返す際のデータ形式	呼び出し元アプリケーションにデータを返すときに、sendbackformatパラメータを付けてデータ形式を指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ sendbackformat=atdoc ... MetaMoJi Note形式</li><li>・ sendbackformat=pdf ... PDF形式</li></ul>
破棄/保存の指定	ローカルキャビネットにデータを保存するかしないかを指定します。 ※ sendbackformatパラメータを付けた場合に有効となります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ discard=1 : 破棄する（保存しない）</li><li>・ discard=0 または discardパラメータを付けない場合 : 保存する</li></ul>

# カスタムURLスキームの仕様

## 2. 呼び出し元アプリケーションに返すためのURL

この文字列には {} で囲んだプレースホルダを埋め込むことができます。その部分を該当するデータで置き換えた状態で呼び出します。

### プレースホルダ

- {data}

呼び出し元アプリケーションに戻すデータ（PDF、MetaMoJi Note形式など）を Base64URL Encoding でエンコードしたものに置き換えます。

※ ほかのアプリケーションから呼び出す場合に指定されるパラメータの「データ」に相当します。

- {name}

呼び出し元アプリケーションに戻すデータのファイル名を、UTF-8文字列のPercent-Encoding でエンコードしたものに置き換えます。

※ ほかのアプリケーションから呼び出す場合に指定されるパラメータの「データ名」に相当します。

# カスタムURLスキームの仕様

## 3. カスタムURLスキームの例

noteanytimeel:///import?data=5LuK5pe144Gv(略)&name=sample%2epdf&srcname=SampleApp&srcurl=sampleapp%3a%2f%2f%2f%3fxxx%3d111%26yyy%3d222%26data%3d%7bdata%7d%26name%3d%7bname%7d&sendbackformat=pdf&discard=1

項目	値	説明
<スキーム>	noteanytimeel	MetaMoJi Noteで開く
<データ>	(バイナリ列)	
<データ名>	sample.pdf	データのファイル名
<呼び出し元アプリ名>	SampleApp	SampleAppという名称のアプリから呼ばれた
<呼び出し元アプリに返すためのURL>	<u>sampleapp:///? xxx=111&amp;yyy=222&amp;data ={data}&amp;name={name}</u>	呼び出し元アプリにデータを戻す際に指定するカスタムURLスキーム
<呼び出し元アプリに返す際のデータ形式>	pdf	PDF形式で送る
<破棄終了の指定>	1	破棄する (ローカルキャビネットに保存しない)